

### ○概要

Group 4における3つの科目に共通する特徴が、「生徒が事前に授業で学ぶ範囲を予習し、考えたことや学び、疑問点を共有する」という授業スタイルです。先生方は、生徒のディスカッションやプレゼンテーションに対しアドバイスや議論を深めるヒントを提供します。自由な発言をもとに授業が進むため、生徒が質問しやすいのが特徴です。また、補助教材を除き教科書は全て英語で書かれています。これらの科目は、ただ暗記するだけでなくプロセスやメカニズムなど「科学の本質を理解すること」が重要です。

### ○最終評価物

最終的な成績は、各科目3種類のテストと1つのレポートによって評価されます。

①Paper 1 - 選択問題。（関数電卓の使用不可。）

②Paper 2 - 記述問題。（関数電卓の使用可能。）

③Paper 3 - 記述問題。知識を応用させ、実験の手順や考察方法などを問う問題が出題される。（関数電卓の使用可能。）

④Internal Assessment - 興味のある事象について自ら問いを立て、その問いに答えるために実験を行い、レポートを執筆する。

◎化学と物理では、IB機構で作られた公式集を試験中に使うことができます。

➔化学では、周期表や主要な公式、定量データなどが記載されています。

➔物理では、分野ごとに公式が記載されています。

### ○選択者からのコメント

#### ・化学

世界の本質を知れたような気持ちになれます！有名な化学者の発明を理解できるようになったり、化学の汎用性の広さを知れることが大きな学びです。ディスカッションしながら答えを導き出す授業スタイルはとても楽しいです。

#### ・生物

医学や薬学に通じることを学べたうえ、日常に潜む生物に関する事象に疑問を抱くようになりました。実験や映像を通して生命現象を理解したり、得た知識をもとに生態系の多様性や科学者倫理といった観点からディスカッションなども行うため、学びの応用範囲は多岐に渡ります。

#### ・物理

本校では物理はHLしかなく、他の科目よりも選択者が少ないことが大きな特徴です。（IB4期生は6人、5期生は5人が物理HLを選択しています。）IBの物理では、日本の高校の範囲から大学の範囲まで、広く学びます。日常にある現象や事物が、物理的な視点から見れるようになることにはとても心が躍ります。虹の一番外側が赤色になる理由を知ったときは感動しました。